

狛犬

狛犬(獅子)の彫刻は通常、対になって見られます。寺や神社などの神聖な場所を魔除けによって守護します。狛犬の対を構成する二つの彫刻は似ていますが、一方は口が開いており、他方は閉じています。片方が子どもを抱いていて、もう片方が鞠を抱いているという形態は、中国風の特徴です。

この違いの意味については諸説あります。口を開けた銅像は、サンスクリット語の最初の文字である「ア」を発声しており、対応する銅像は「ウン」と発音しているという話もあります。この二つを合わせると、すべてのものの始まりと終わりを意味する神聖な仏教の音節である「アウン」となります。

口を開いた像は高さ 60.6 cm で、子供を保護しているもう一方の像は高さ 62.1 cm です。これらの例の年代や起源は不明ですが、鎌倉時代初期(1185~1333 年)のものではないかと推測する専門家もいます。